



AYAMA

Public Relations Magazine



2026

vol. 846



【特集】狭山を愛した詩人 生誕100年 吉野弘の世界をたどる

池原昭治氏／童絵「狭山市 お正月の風景」

物価高騰の影響を受ける皆さんを支援します

食料品等物価高騰対応給付金

7年12月1日時点で狭山市に住民登録がある全ての方に

1人あたり現金4,000円を世帯ごとに支給します

※世帯主の口座に世帯員分を一括で振り込みます

1月下旬に市から世帯主宛てに通知(ハガキ)か確認書(封筒)が届きます

手続き方法

現在お持ちの世帯主名義の口座で令和2年度以降に特別定額給付金など市からの給付金を受給した方

➡ 通知に記載された内容に変更がなければ手続き不要

それ以外の方

➡ 確認書の案内に従って口座情報が分かるものを2月27日(金)(必着)までに郵送か電子申請

支給時期

2月中旬から ※手続きが必要な方については受け付けた順に支給していきます

問合せ 全世帯給付金センターへ☎0570-071-700 ※問い合わせの電話は1月13日(火)8時30分から受付開始



物価高対応子育て応援手当



・7年9月30日時点で児童手当の対象である児童

・7年10月1日~8年3月31日に出生した児童 を養育する保護者

児童1人につき現金20,000円を支給します

1月下旬~2月上旬に市から対象世帯宛てに通知が届きます

手続き方法

●7年9月分(10月10日支給)の児童手当を受給した方
●7年9月1日~30日に出生した児童の保護者

➡ 手続き不要 (原則、児童手当受給口座へ振り込みます)

※7年10月1日~8年3月31日に出生した児童の保護者は申請書の提出が必要

勤務先から児童手当を受給している公務員の方

➡ 勤務先から送付される申請書を提出

支給時期

2月下旬から ※手続きが必要な方については、受け付けた翌月末に支給します

問合せ こども支援課へ☎2941-3069



Pick up

さやまの「いいね！」

さやまちょこっとなび

気分は大学生♪子ども大学さやま

小学生が大学の学びを体験できる「子ども大学さやま」へ見学に。この日は大学の先生が、アニメや漫画からの学びを動画や写真を交えて楽しくお話ししてくださいました。授業の後は、学生による学内ツアーと学食体験も。地域の大学とこどもたちがつながり、狭山の未来がますます明るくなりますように。

(記事作成:市民ライター 西澤恵子さん)



Instagram「さやまちょこっとなび」では、市民ライターが市内のお気に入りスポットを取材し発信しています。ぜひチェックしてみてください!

問合せ 広報課へ☎2935-3765

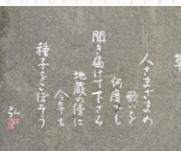


分かるかな？

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょう？

正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。郵便はがきに、住所、氏名、電話番号、クイズの答え、感想を記入して広報課宛(住所は裏表紙に記載)にお送りいただけます。締め切り1月31日(土)



12月号の答え

22ページ「ひと・まち・写真館」の「奥富かかし祭り」の写真でした。



Contents



目次

今月の表紙



今月の表紙は、童絵作家・池原昭治さんが描いた2026年の干支「午」が題材の新年イラストです。

「令和8年は午年です。市内で初めに思い浮かぶのがこども動物園です。スケッチに伺い、元気の良い馬たちにあいさつをしました。狭山市は鎌倉時代の昔から、馬に関わる歴史のある所です。今年は馬にちなんだお話や場所を探してみませんか？」（コメント／池原昭治氏）

P3

P4

P5

P12

P13

P14

P22

P24

物価高騰の影響を受ける皆さんを支援します

4月から始まります！こども誰でも通園制度

【特集】狭山を愛した詩人 生誕100年 吉野弘の世界をたどる

狭山の戦争の記憶とくらし・戦後80年、そして未来への継承、市長が走る

令和7年分市民税・県民税の申告と所得税の確定申告

情報ガイド

ひと・まち・写真館、みんなの掲示板

さやまの昔ばなし

今月号の同時配布物(挟み込み):社協だより「ふれあい」

目で見る「さやま」



目で見る「さやま」

人口と世帯(市民課)
※人口は12月1日現在()内は前月比。転出入等は1カ月間の累計

男	73,371人(-46人)	転入等	434人
女	74,063人(+13人)	転出等	364人
合計	147,434人(-33人)	出生	52人
世帯	73,381世帯(+58世帯)	死亡	155人



12月の火災・救急件数(狭山消防署)

※11月16日~12月15日の累計

火災件数	救急出動件数
5件(建物3件・その他2件)	771件(搬送人員687人)

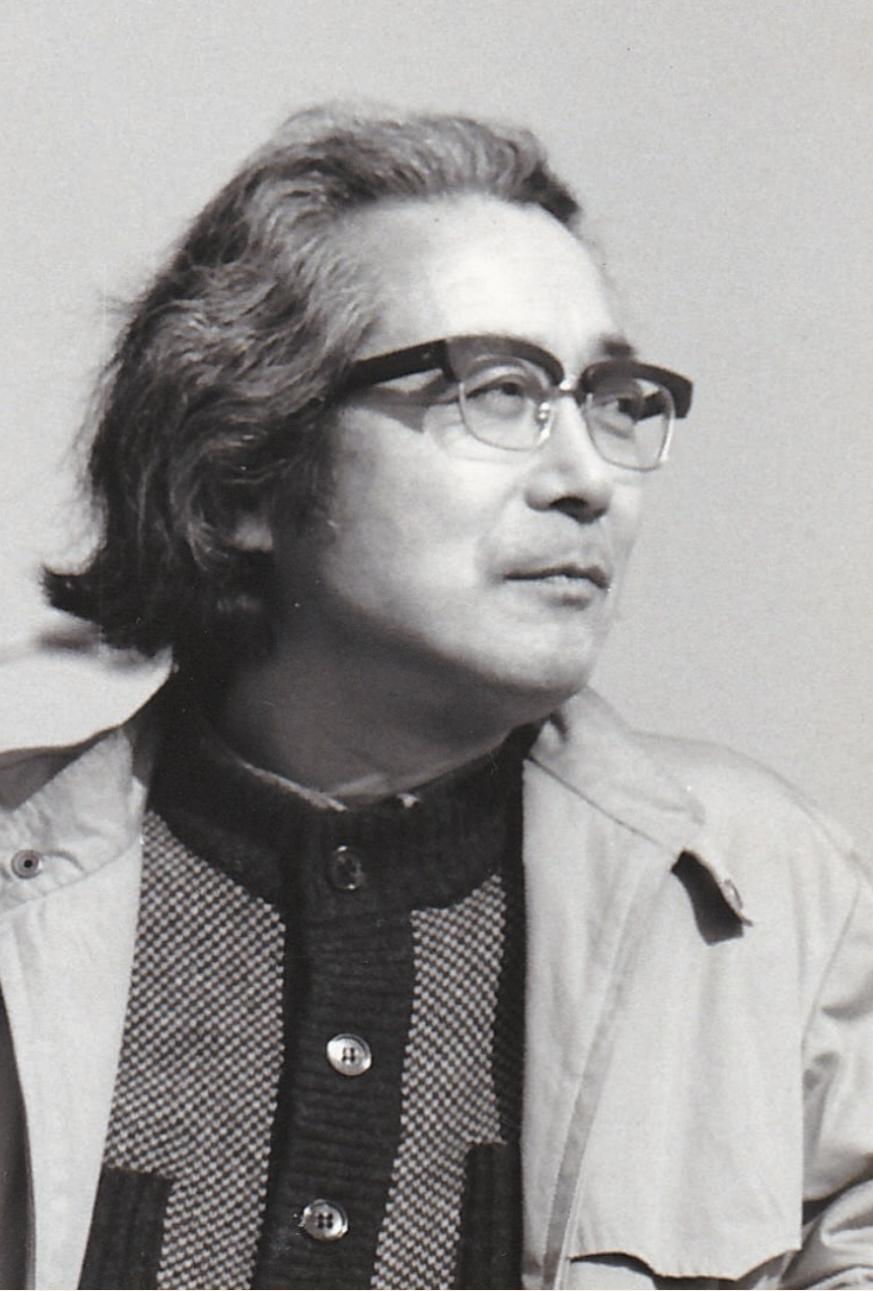


交通事故・振り込め詐欺件数(狭山警察署)

※1月1日~12月15日の累計(狭山市分)

発生数	人身事故	死者	物損事故	振り込め詐欺
3,419件	216件	3人	3,203件	45件

紙面に掲載されている連絡先へ携帯電話・スマートフォンから電話をかける場合は、最初に市外局番(04)をつけてください



昭和57年の吉野弘さん(家族提供)

娘はどこまでゆけるだろう。
「夕焼け」より一部抜粋

やさしさの心に責められながら
を感じるから。

何故って
やさしさの心の持主は
われたもあらず受難者となる。

いつでもどこでも
他人のつらさを自分のつらさのように
感じるから。

今年生誕100年を迎える、詩人の吉野弘さん。結婚披露宴でよく引用される「祝婚歌」や、国語の教科書に掲載された「I was born」「夕焼け」など、数多くの名作を遺しました。狭山市で過ごした35年間の暮らしの中で自然や人々との交流が、作品に色濃く息づいています。今月は、吉野さんの足跡をたどりながら、詩の世界を感じられるスポットなどを紹介します。

吉野弘の世界をたどる

狭山を愛した詩人 生誕100年



4月から始まります!

こども誰でも通園制度

こども家庭庁の策定した「こども未来戦略」に基づき、新たに創設されたこども誰でも通園制度についてお知らせします。

① 何のための制度なの?



全ての子どもの育ちを応援し、良質な成育環境を整備することと、全ての子育て家庭に対して、保護者の多様なライフスタイルに応じた形での支援を行うための制度です

② 誰が利用できるの?



保育所などに通っていない6ヶ月から満3歳未満の子どもです

③ どれくらい利用できるの?



こども1人につき月10時間まで保育所などを利用できます

④ 一時預かりとどう違うの?



一時預かりは、一時的に家庭での保育が困難となった保護者を支援することが目的であるのに対して、こども誰でも通園制度は子どもの育ちを応援することを目的としています。家庭にいるだけでは得られない、さまざまな経験を通じてこどもが成長するための制度です

利 用 の 流 れ



こどもにうれしい

- 地域に出て、家族以外の人と関わる機会が得られます
- 子どもについて専門的な知識や経歴を持つ人が関わることで、ものや人への興味・関心が広がります
- 年齢の近いこどもとの関わりにより、社会情緒的な発達を支えるなど豊かな経験をもたらします



保護者にうれしい

- さまざまな情報や人とつながり、地域の子育て支援などを知るきっかけとなります
- 専門的な知識と技術を持つ人と関わることで、孤立感や不安感を解消し安心感を得ることができます
- 月の中で一定時間こどもと離れた時間を過ごすことで、負担感の軽減につながります

利用申し込みのスケジュールや実施施設などの詳細は、市公式ホームページにて決まり次第お知らせします



問い合わせ 保育幼稚園課へ 2941-4093

★慈眼寺(入間川1-9-37)

吉野さんの墓所があり、自身の詩「草」「いのちは」が刻まれている詩碑があります。

■優しさの奥に真と一本筋のある方でした

優しく穏やかな吉野さんは、言葉を大切にする几帳面な方で、寺報を送るとすぐに感想を寄せてくださいました。吉野さんが寺を訪れる長く語り合いましたし、ある時は子どもを見ると「愛おしくて涙が出る」と涙を流すような感受性の豊かな方でした。お盆の法要には何か感じるものがあったようで、毎年早めに来られては準備する人の様子を本堂に座って静かに見守っていました。



境内にある「いのちは」という詩を刻んだ碑は私が建立しました。この詩を選んだのは、作中にある「世界は多分他者との総和」という言葉が、仏教の「縦に繋がる総和」という思想と通じると感じたからです。吉野さんという狭山市ゆかりの詩人がいたことを、詩碑を通して後世に残していきたいと思っています。

★常泉寺

樹の目標は何か、完成とは何か もちろん、人は知りもしない。
(「樹木」詩集『陽を浴びて』より一部抜粋)

この地域はかつて武藏野の雑木林が広がる自然豊かな場所でした。境内にもかつてはケヤキや銀杏の大木があり、散歩をしながら娘たちにケヤキの話をしたそうです。



★野々宮神社

作品の舞台かどうかははっきりと分かっていませんが、神社内の立派なケヤキと銀杏は、吉野さんの自宅から眺めることができたそうで、この辺りの竹林も目にしていたと考えられます。吉野さんは竹を見てビルを思い浮かべたのか、それともビル群を見て竹を重ねて想像したのか。その発想の源に思いを巡らせる興味深く眺めることができます。



（竹）詩集『自然渢滯』より一部抜粋
光も入らない円筒形の部屋ばかり
縦列の高層ビル「竹」

次ページ 図書館などで読める吉野さんの作品

▶墓所に刻まれている「草」
草は地面から伸びるため、
この詩はあえて下揃えにな
っています



◀「いのちは」が刻
まれている詩碑
(MTW提供)



吉野弘さんが見ていた風景に触れてみよう

★不老川

両膝をぴったり合わせ脚を曲げたように 堤に生えている榎の二本の幹 (「脚」詩集『叙景』より一部抜粋)
つくし 土筆 光をたっぷりふくませて 光を春になすっています (「つくし」詩集『自然渢滯』より一部抜粋)

吉野さんは不老川沿いもよく散策していましたといいます。かつて下流には「脚」のモデルになった榎の木があり、対岸の住宅付近は春になるとたくさんのつくしが芽生える場所だったそうです。「つくし」からは、散歩の途中に背の高い吉野さんがしゃがみ込み、小さなつくしを優しいまなざしで見つめる姿が思い浮かびます。



▲つくし(入曾を記録
する会提供)



▲脚(さやま吉野
弘の会提供)
※現在はありません

★茶の花おぼえがき誕生の地

栄養生長と成熟生長という二つの言葉の不意打ちに会った私は、二つの生長を瞬時に体験してしまった一株の茶の木でもありました。(「茶の花おぼえがき」詩集『北入曾』より一部抜粋)



それぞれの場所にちなんだ詩の解説
は「さやま吉野弘の会」が「茶の花文学散步」のために作成したもの
を参考しています

★入曾地域交流センター
(吉野さんの作品の展示があります)

★金剛院

寺の本堂前 銀杏の巨木が喪服の人の右
に左に 熟した金色の実をしきりに降らせて
いた。 (「銀杏」詩集『叙景』より一部抜粋)



金剛院の境内には詩のモデルとなった大銀杏があります。現在は一部を伐採し、当時よりも少し低くなっているようです。詩では「寺は幼稚園を兼ねていた」と紹介され、こどもたちの生き生きとした様子や、法事に来ていたと思われる喪服の人々の姿も描かれています。お寺にある大きな銀杏を主役として、こどもたちから大人たちまでの、自然と日常の営みが凝縮されているような作品だといわれています。

■吉野さんが衝撃を受けた「成熟生長」という言葉



▲さやま吉野弘の会 仲川幸成さん(作中の若旦那・前市長)

詩集『北入曾』にある「井戸端園の若旦那が、或る日、私に話してくれました」で始まるこの詩は、私と吉野さんとの会話を基に生まれた作品です。吉野さんの自宅からは茶畠が見え、私が茶の木の手入れ作業をしていることを確認すると、よく畠に入ってきて、作物や育種のことなどを熱心に尋ねてきました。奥さんから「忙しいのに、何度も伺って申し訳ない」と言われるほどでした。

会話の中でとりわけ吉野さんが衝撃を受けていたのは、私が発した「成熟生長」という言葉です。「茶の木は肥料が多いと花をつけず、栄養が尽きたときに吸収できなくなりと花を咲かせる。花は“終わり”であると同時に、次の世代の“始まり”でもある」ということを話しました。この自然の営みが、もともと吉野さんの根底にあった「いのち」というテーマと重なったのだと思います。

吉野弘 生誕100年記念イベント

茶の花回想録「吉野さんとのおもいでばなし」

吉野弘さんの詩の作品や人柄を演劇で鑑賞できるイベントです。

日時 2月15日(日)、14時～15時30分

場所 慈眼寺(入間川1-9-37)

出演 MTW(ミュージアム・シアター・ワークショップ)

定員 70名

申込み 1月20日(火)、10時から入曾地域交流センターへ☎2959-3004(電子申請・電話可)



▲2024年公演の様子



▲申し込み
はこちら

▲申し込み
はこちら



図書館で手に取れる書籍

吉野弘さんに関する書籍を図書館で借りることができます。詳細は、図書館公式ホームページをご覧ください。作品を通して、吉野さんの言葉の世界に触れてみてはいかがでしょうか。ページを開けば、そっと心に寄り添う一行と出会えるかもしれません。



『北入曾』
(吉野弘/青土社/昭和
52年)



『贈るうた』
(吉野弘/花神社/平
成4年)



『二人が睦まじく
いるためには』
(吉野弘/童話屋/平
成15年)



『妻と娘二人が選んだ
「吉野弘の詩」』
(吉野弘/青土社/平成
27年)

「祝婚歌」

結婚式のスピーチでよく紹介される「祝婚歌」。この詩は、姪の結婚式に出席できなかった吉野さんが、新郎新婦にお祝いとして贈った詩です。

市では、婚姻届を提出された方に「婚姻記念証」をお贈りしています。表面には広報さやまの「さやまの昔話」などでおなじみの池原昭治さんが描いた童絵と、吉野弘さん直筆の「祝婚歌」を載せ、裏面には婚姻届を複写した特別な日を記念する一枚となっています。



皆さん一度は耳にしたことがあるのではないかでしょうか

今回のイベントを企画している

「さやま吉野弘の会」の方にお聞きしました！

イベントの魅力を聞かせてください



▲さやま吉野弘の会 可知教子さん

演劇を観た方へのメッセージ

この演劇作品は、詩やエッセイだけでは知ることのできない、吉野さんの「日常の素の姿」を伝えるため、ご家族や生前に交流のあった方々のお話を基に作られました。演劇という形だからこそ、作品を読むよりも目と耳で触れることができ、吉野さんの人柄がよりスッと心に入ってくるのではないかと思います。

見どころは、今まで一部分のみ紹介していた長い散文詩「茶の花おぼえがき」を全編紹介することです。舞台となっている狭山ならではの場面ですし、朗読ではなく役者が演じることで、吉野さんと狭山の風土との出会いの物語として表現されています。また、会場が初めて吉野さんの菩提寺である慈眼寺となり、役者も一部変更になっているので、前回ご覧になった方にも新しい気持ちで楽しんでいただけると思います。ぜひ、足をお運びください。

観劇後には、ぜひ詩を読み返してみてください。私たちと同じ日常を見つめながら、少し違う視点で言葉を紡いだ吉野さんの魅力がじんわりと伝わってくるはずです。そして、何気ない日常の中で「自分だったらどう感じるだろう？」と胸の内に問いかける、小さなきっかけになればうれしく思います。

問合せ 広報課へ☎2935-3765

令和7年分市民税・県民税の申告と所得税の確定申告



申告の受け付けと予約の方法

◆申告受付会場・日時

日付	会場
2月9日(月)	堀兼公民館
2月10日(火)	柏原公民館
2月12日(木)	水富公民館
2月13日(金)	入曽地域交流センター
2月16日(月)	奥富公民館
2月17日(火)	広瀬公民館
2月18日(水)	水野公民館
2月19日(木)	新狭山公民館
2月20日(金)	狭山台公民館

申告受付時間 10時～15時

◆市役所会場・日時

日付	会場
2月24日(火)～3月16日(月)	狭山市役所6階

申告受付時間 9時～15時

※土・日曜日、祝日を除く。2月28日(土)は9時～12時で受け付け

■受け付けできる申告書
市民税・県民税の申告書、令和7年確定申告書(給与所得、配当所得、分離課税所得、暗号資産に係る収入を含むもの、亡くなられた方の申告は受け付けることができません)。

※申告書類は、国税庁ホームページやコンビニのマルチコピー機からも印刷可。市民税課、公民館では1月16日(金)から配布しますが、限りがあります。

■受け付け必要な申告書
市民税・県民税の申告書、令和7年確定申告書(給与所得、配当所得、分離課税所得、暗号資産に係る収入を含むもの、亡くなられた方の申告は受け付けることができません)。

※申告書類は、国税庁ホームページやコンビニのマルチコピー機からも印刷可。市民税課、公民館では1月16日(金)から配布しますが、限りがあります。

■申告が必要な方
8年1月1日現在、市内に住民登録があり次のいずれかに該当する方(所得税の確定申告をした方は申告不要)。
①給与所得者で年末調整をした給与所得以外の所得がある
②所得税の納付や還付がなく、営業、農業、不動産、雑(業務・その他)などの所得がある
③公的年金の受給者で、年金以外の所得があるか社会保険料、医療費などの所得控除を受ける
※収入がない方でも、国民健康保険税の算出や国民年金保険料の免除申請、保育料の算定などで、市民税・県民税の申告が必要となる場合があります。

市民税・県民税の申告

所沢税務署での確定申告

【問合せ】▼市民税・県民税に関する事前に電話が必要
3 ▼所得税に関する事前に電話が必要
署へ 2993-9111
こと市民税課へ 2937-507
3 ■市役所へ 04-2953-1111(代表) 04-2954-6262
開行時間 平日の8時30分～17時15分 ※2月2日(月)から窓口受付時間は9時～16時30分となります

- 申告には前日までの事前予約が必要です
- 申告用紙の事前入手は不要です

◆予約方法

電話予約は市役所 2953-1111 へかけて「申告予約コールセンターへ」とお伝えください



電話で予約する
2月1日(日)、9時～15時
2日以降の9時～15時



電話で予約する
2月1日(日)、11時～15時
2日以降の9時～15時

おすすめ

インターネットで
予約する

1月26日(月)、8時30分
～申告日前日の17時
(24時間受け付け)

専用フォームに入力し
てください



2月8日(日)まで

開館時間 9時～17時(最終入場16時30分)
休館日 每週月曜日(祝日の場合は開館)
料金 一般:200円
高大生:150円
中学生以下:無料

狹山市立博物館 令和7年度 冬期企画展 狹山の戦争記憶くらし

- 戦後80年、そして未来への継承 -



出征旗



展示解説(ギャラリートーク)

担当学芸員が展示の見どころを解説します。

日時 1月24日(土)、10時～11時30分

収蔵資料を中心とした狹山に関する資料の他、当時の伝承などを発掘・収集して展示しています。昭和の暮らしや、こどもたちの学びと遊びについても紹介し、狹山に残された戦争の記憶を未来へ継承するための企画展です。また、現在の航空自衛隊入間基地の変遷をたどり、戦中戦後の「基地の町」としての概況を捉え、高度経済成長期から現代に至る人々の暮らしを振り返りながら「平和都市宣言」35周年を迎えた市の様子を紹介します。

冬のまいまい体験講座

砂絵や企画展にちなんだ手投げパラシュートなどの工作です。



日程 企画展開催期間中の土・日曜日・祝日

時間 10時30分～12時と13時30分～15時

費用 300円～400円

申込み 当日に費用を持って同館へ(先着順で整理券を配布)

問合せ 博物館へ 2955-3804

新年に思う感謝と昔日

ことに感謝をしています。

高校生の時に郵便配達のアルバイトをしたことがあります。赤い自転車に乗って配達するのですが、朝、郵便物をバッグに詰めて出発し、夕方までかかりました。途中、犬に追いかけられたり、早く終わったら家で休んでいたりと、のどかな時代でした。元日には大量の年賀状を配達するのですが、途中に地域の方から「元日からご苦労様」とお年玉を頂いたことがあります。



市長の主な動き

- 11/28～…市議会第4回定例会
- 12/6～不老川年末合同清掃、民生委員・児童委員委嘱状伝達式及び感謝状交付式
- 12/14～クロスカントリー in Sayama 2025、狭山茶の里ウォーキング
- 12/15～特殊詐欺・振り込め詐欺防止啓発活動
- 12/17～定例市議
- 12/29～消防団歳末特別警戒激励巡回

時代の流れなのか、手元に届く年賀状が少なくなったように感じます。以前は大晦日まで年賀状の作成があり、宛名を書き終えると一年の仕事が終わったとほっとしたものです。私も数年前から年賀状を出すのをやめてしましましたが、今でも多くの方から届く年賀状の手書きの字とご家族の様子を見ながら、長年にわたりお付き合いをいただいている出来事です。

狭山市長 小谷野剛

水富幼稚園を公開

7年度末で閉園する水富幼稚園の園庭や園舎の一部を地域の方に向けて公開します。

日時 2月7・8日(土・日)、10時～12時と13時～15時

問合せ 同園へ☎2952-7

若い世代の移住・定住促進補助制度が終了します

「親元同居・近居支援補助金」と「若い世代の住宅取得支援補助金」が6月30日(火)で終了します。詳細は、市公式ホームページをご覧ください。

新規度については、広報さやま2月号でご案内します。

申込み 6月30日(火)

（必着）までに企画課へ☎2935-4627

令和7年度狹山市交通安全最優秀作品を紹介

狹山市交通安全対策協議会が募集した交通安全作品に応募のあった1702作品の中から、次の方々が各部門で最優秀賞を受賞されました。おめでとうございます。全入賞作品は市公式ホームページでご覧いただけます。



【ポスターの部】
豊田陵介さん(入間川東小6年生)

窓口の受付時間が変わります

2月2日(月)から、市役所本庁舎などの窓口受付時間が変わります。職員の働き方改革と業務効率・サービス品質の向上を図っていますので、ご理解・ご協力をお願いします。

なお、手続きの案内は、市公式ホームページや手続きガイドをご覧ください。

住民票の写しなど一部証明書の発行は、マイナンバーカードを利用してコンビニなどで発行できます。

窓口で300円の手数料が150円となり便利でお得です。ぜひご利用ください。

対象施設と受付時間

対象施設	窓口受付時間	電話受付時間
市役所本庁舎	9時～16時30分	9時～16時30分
地区センター・入曾地域交流センター・市民サービスコーナー	9時～16時30分	8時30分～17時15分 (変更なし)

問合せ 行政経営課へ☎2935-4812

◆外国人向け相談会

2月14日(土)、13時30分～16時(必着)までに企画課へ☎2935-4627(郵送可)

申込み 2月9日(月)までに自治外国籍の方が、困っていることを相談できます。

◆英語セミナー

2月9日(月)～2月14日(土)、13時30分～16時(必着)までに企画課へ☎2952-4584(電話可)。

申込み 1月19日(月)から保健センターへ☎2959-5811(電話可)

対象 中学生以上

費用 500円(食材費)

◆ちゃつぽ子育て講座

2月26日(木)～2月27日(金)、10時～11時30分(全2回)までに企画課へ☎2968-1323(ドパンツ)。

申込み 1月16日(金)から同センターへ☎2954-2111(電話可)

対象 市内在住の子育て中の方

内容 ワークライフバランスについて学ぶ

費用 5万円(未就学児(8名))

◆おもちゃの病院

申込み 1月19日(月)～9時から同施設へ(電話可)。持参品は申し込み時に確認

◆おもちゃの病院

申込み 1月17日(土)～9時～10時

機などは修理不可

※部品交換は実費。電子ゲーム

内容 壊れたおもちゃの修理

込み時に確認

機などは修理不可

申込み 1月17日(土)～9時～10時

学ぶ・楽

體育館

◆スポーツ教室

どの教室に参加しても1ポイント獲得でき、10ポイントで

1回無料になります。

**さやまんshire
イベントカレンダー**

地域ポータルサイト「さやまんshire」には、市民の皆さんや市内で活動しているサークル・団体などのイベント情報が掲載されています。また、イベント情報の登録を行うこともできますので、地域の交流や活性化のため、「活用ください。」

イベント情報
などはこちり

日時 2月15日 (日)、13時30分～	定員 20名(多 数は抽選)	費用 1千600円
申込み (土)に同園へ(電話可)	1月31日(土)～2月7日	
内容 説でじどもと一緒に 展示を見学	「ベビーカーツアー」はじ めてのミュージアム	
費用 200円(入館料)		

普通救命講習会Ⅰ	
対象	狹山・所沢 市在住・在勤・在学の中学生以上の方
内容	心肺蘇生法(成人)、AEDの取り扱い、止血法
日時	2月7日(土)、9時～12時
定員	30名
申込み	1月16日(金)から電話 狭山消防署消防管理課へ 020-531-7112(平日の9時～17時)
脳の健康度テスト(ファイブ・コグ検査)	

◆スポーツ教室
開催教室 身体引き
締め＆ストレッチ、

狹山台体育館
☎ 2958-1201
申込み ホームページで日時を
確認の上、当日に費用を持つて
同館へ(電子申請可)
費用 1回600円
体操 kid
キッズ体操 kid
ジム二
二バ

定病院はこちから
問合せ 健康づくり支
援課へ☎2956-8050

保健センターのお知らせ

乳幼児健診・教室や大人
の検(健)診の日程など
はこちから

問合せ 保健センターへ
☎2959-5811

内容	検査と結果説明、認知症に関する講話など
日時	2月25日、3月4日(水、10時～11時30分(全2回)
場所	市民交流センター
定員	80名
申込み	1月19日(月)から電話で 介護保険課へ☎2941-5609
内容	安全保障の専門家による 講演
日時	2月5日(木)、14時30分～16時
場所	市民会館
定員	200名
申込み	電話で狹山商工会議所 へ☎2954-3333
問合せ	商業観光課へ☎2937-7538
講演会「どう向かひ う？成年後見制度」	手話
日時	2月28日(土)、13時30分～15時30分
場所	市民交流センター
定員	200名
申込み	1月16日(金)から電話か 電子申請で狹山市社会福祉協議会へ☎2956-7665
問合せ	障がい者福祉課へ☎2

里親入門講座	
内容	里親制度や里親体験に関する講演
日時	2月28日(土)、14時～16時
場所	中央公民館
定員	50名
申込み	電話か電子申請で社会福祉法人同仁学院へ
☎	042-980-7676
暮らしと介護の総合相談会	
生活面やこじろの健康、失業などの悩みや不安をお持ちの方の相談を専門家がお受けします	
日時	3月3日(火)、11時～15時

対象	令和7年の収入が600万円以下で次のいずれかに該当する方▼年金を受給している方▼給与所得者で医療費控除を受ける方▼年の中途で退職か就職し、年末調整をしていない方
期間	2月3日(火)～13日(金)(土日曜日、休日を除く)
申込み	1月19日(月)、10時から 関東信越税理士会所沢支部事務局へ☎ 2993-0822(10時～12時と14時～16時)
救急隊のコンビニ・病院内売店利用のお知らせ	<p>埼玉西部消防局では、近年の救急出場の増加に伴い、救急隊が長時間にわたり消防署へ戻ることができない状況となっています。隊員の休憩や食事、水分補給のため、市内のコンビニエンスストアと病院内売店の利用について理解をお願いします。</p> <p>なお、店舗を利用する際には、救急車内に「コンビニエンスフ</p>

今月の納期…2月2日(月)です	集合・ゴール 地公園
▶市民税・県民税・森林環境税(4期)	費用 700円(中学生以下は 無料)
▶国民健康保険税(7期)	申込み 2月11日(祝)までに窓口 市観光協会へ ☎ 2953-112
▶介護保険料(7期)	
問合せ 収税課へ ☎ 2937-5549	
▶後期高齢者医療保険料(7期)	
問合せ 保険年金課へ ☎ 2941-5174	

ひと まち 写 真 館

あなたが写っていますか？広報さやまに掲載
した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差
し上げます。広報課までご連絡ください。

12/18 餅つき＆鏡餅作り
(広瀬保育所)

「よいしょ！」
元気いっぱい掛け声響く



1年を健康に過ごせるようにと願いを込めて、餅つきに挑戦。掛け声とともに、息を合わせて、力強く杵を振り下ろしました。ついた餅は丸めて鏡餅に。園児たちは「杵が重くて大変だったけど、来年も元気に過ごせそう」と笑顔で話しました。

12/16 楽しく学ぼう！詐欺防止と健康体操(市民交流センター)

フレッシュな心と身体で詐欺を撃退



昨年、市内で特殊詐欺の事件が多発したことを受け、防止対策の啓発を目的に開催しました。講師の俳優・由美かおるさんからは体操や呼吸法のレクチャーがあり、被害を防ぐために年齢を重ねても元気に暮らす方法を身に付けました。

12/12 パラバドミントン出前授業
(山王小学校)

競技用車いすを駆使してスマッシュ！



パラバドミントン元日本代表の大濱真さんを講師に迎え、競技を体験しました。児童たちは、前後左右に素早く飛ぶシャトルに合わせて、車いすを操作。普段慣れ親しんだ競技と一味違う、パラスポーツの難しさを身をもって体感しました。

12/10 地域の先生に学ぶ！水墨画の学び(広瀬公民館)

奥深い墨の趣きを知る



地域のサークルの方を先生として、小学校6年生が水墨画を学びました。にじみやかすれ、筆の力加減などを教わり、墨で描く楽しさを実感するこどもたち。完成品を誇らしげに見つめながら「また家でもやってみたい」と話しました。



智光山公園の秋バラと紅葉のコラボ！！
しばとん(入間川)



イルミネーションきれ~い♪チャッピー(中央)



「ひこうき～！」ブルーインパルス見たよ
ひーくんママ(北入曽)



山王中でも紅葉狩りができました。
ヤマグニ(狭山台)

**みんなの
掲示板**

投稿募集！

皆さん市内で撮った写真を募集しています
●応募方法
二次元コードより氏名(ペンネーム可)、住所、電話番号、メールアドレス、メッセージを入力し、写真データをアップロードしてください



12/16 彫刻体験講座
(入曽地域交流センター)

自然の木目を感じながらひと削りずつ



講師のお手本を見ながら、今年の干支である「午」の形を木片から削り出します。初めて参加した方は「彫刻刀を握るのは小・中学生ぶり。思ったようにいかない」と話しながら、丁寧に刃を滑らせ作品の形を整えていました。

12/14 クロスカントリーinSayama 2025(狭山稻荷山公園)

雨を吹き飛ばし力いっぱい疾走



雨天での開催となりましたが、ランナーは寒さに負けずコースを駆け抜け、白熱したレースを繰り広げました。競技後に振る舞われたのは、狭山のサトイモを使った芋煮。レース後の疲れた体に染みわたるご馳走となりました。

(市民カメラマン・横内明人さん)



題字・絵・文／池原昭治氏

池原さんのプロフィールや
ほかの作品は▶こちら▼

成木ぜめのお話 (奥富)

昔のお話です。小正月の前の14日になると奥富あたりでは成木ぜめというめずらしいお正月の行事がありました。さあ、今年もやるべいかとおじいさんが柿の木にむかってたき火あげ大きな声で「成るか、成らぬか」と言ひ申せ、成らなきゃ根にからぶた切り申す」と言ひて柿の木に少しひがみをつけます。その後孫たちが「成り申す、成すともうがよく実づくれますよう作もうがよし祝行事」などうことです。



広報さやまへのご意見・ご感想は はがき・メール・FAXで広報課へ



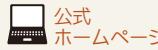
〒350-1380
狭山市入間川1丁目23番5号



koho@city.sayama.saitama.jp



TEL 04-2953-1111
FAX 04-2953-1117



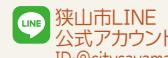
公式
ホームページ



公式
Facebook



公式X



公式LINE
公式アカウント
ID:@citysayama



マチイロ
「広報さやま」が
スマホで見られます！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

狭山市は持続可能な開発目標(SDGs)に取り組みます

さやまの昔ばなし

(64)

このコーナーでは、昔から市内で語り継がれている言い伝えなどを、池原さん流の描画で紹介します。



編集後記

明けましておめでとうございます。私事ではありますが昨年は数え年で42歳、大厄の年でした。振り返ると、日常のいろいろな場面で無意識に災いを避けるように行動していたように感じます。しかし、今年は60年に一度の「丙午」の年。言い伝えられている通り、強い意志を持って変化を恐れず前に進む1年にしたいと思います。

さて、今月号からこのページの「さやまの昔ばなし」のデザインが少し変わっています。作画を担当していただいている池原昭治さんいわく「読者の皆さんに喜んでいただけるよう、見直したいと常に考えていました」とのこと。池原さんの、変化を恐れない旺盛な創作意欲には本当に感服するばかりです。他にも今年1年間で描いてみたいアイデアがたくさんあるそうですので、皆さんお楽しみに！